



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

令和8年9月1日発行

9月号

備えよ 常に

校長 井上 美保

生徒の皆さん、9月が始まりました。40日に及ぶ長い夏休みが終わり、皆さんとともに9月のスタートを迎えられることを何よりうれしく思います。皆さんは、南大沢学園の生徒として規則を守り、それぞれに有意義な夏休みを過ごしたことと思います。

さて、今年の夏も記録的な暑さが続きました。また、全国各地では地震や豪雨、台風などによる災害が発生しました。災害は、いつ、どこで起きるかわかりません。そのことを改めて実感する出来事が続いた夏でもありました。

「自分だけは大丈夫」「きっと起こらないだろう」と考えてしまうのは誰にでもあることです。しかし、災害は場所や時間を選ばず、誰にでも起こる可能性があります。だからこそ、一人一人が日頃から備えておくことが大切です。

そのために行うのが避難訓練です。地震、火災、不審者対応など、それぞれの場面で取るべき行動は異なります。大切なのは、「その時、自分はどう行動するか」を日頃から考えておくことです。訓練は、想定外の出来事に直面したときでも落ち着いて行動できるようにするためにあります。

東京都では、被災地への職員派遣や物資支援を行うとともに、浸水対策や帰宅困難者対策など、さまざまな防災・減災の取組を進めています。

9月1日は「防災の日」です。9月は、防災について改めて考える大切な月でもあります。家庭でも避難場所や連絡方法を確認したり、防災用品を点検したりしてみましょう。また、東京都防災アプリには、防災について学べるさまざまな情報が載っています。ぜひ活用してください。

南大沢学園の安全な学校づくりは、生徒と先生たちが共に取り組むことで実現します。「備えよ 常に」・・・ 皆さん一人一人が防災意識を高め、安全で充実した9月をスタートさせましょう。

防災学習について

主幹教諭 合田 尚樹

今日より、前期のまとめとなる 9 月が始まりました。皆さんは、どのような夏休みを過ごしましたか。夏休み前より地震・雷・火事・台風など、災害に関する報道が後を絶たず、いつ大規模な災害が起こっても対応できるように、準備しておく必要があります。

本校では、夏休み前の 7 月 14 日、八王子消防署由木分署の協力の下、南大沢学園の施設点検を行い、日頃からの備えや初動対応の重要性について改めて学ぶ機会となりました。また 7 月 16 日には、八王子消防署由木分署と南大沢警察署など地域の機関と連携し、1 年生を対象とした「防災学習」を実施しました。「防災学習」では、『①トイレ設置訓練 ②救出・救命救急訓練（AED）③初期消火訓練』の 3 つの防災に関する基礎知識について、それぞれ実技も交えて学習しました。

防災は他人任せにはできません。皆さん一人一人が自分のことと受け止め、意識して行動することで、被害を最小限に抑えることができます。本校の校則（生徒心得）にも「自分のことは自分で責任をもって管理し行動する」とあります。そのため、今から自分にできる防災対策を考えてみるのが大切です。まずは、日々のニュースなどに関心をもち、毎月の避難訓練に真剣に取り組むことで、防災への意識を高めていってください。

校則（生徒心得）

- （1） 自分のことは自分で責任をもって管理し行動する。
- （2） 法律やその場のルール・マナーを守って行動する。
- （3） 仲間のため、家族のため、社会のために行動する。

■防災学習の様子

①トイレ設置



②AED



③初期消火

